

埼玉医科大学雑誌投稿規定

(平成 14 年 1 月 1 日施行)

(令和 8 年 8 月 1 日改訂)

- 第 1 条 本誌には原著、短報、総説、解説、臨床研究、症例報告、資料および雑報などを掲載する。
別頁として Thesis（埼玉医科大学大学院医学研究科（以下「大学院医学研究科」という）で学位審査に合格した Thesis）を掲載する。本誌の発行は埼玉医科大学ホームページ（<http://www.saitama-med.ac.jp/>）への掲載、冊子体により行う。
- 第 2 条 論文の筆頭著者は、埼玉医科大学医学会正会員に限る。ただし、依頼原稿ならびに本学教授の推薦がある場合には、この限りでない。
- 第 3 条 本誌は埼玉医科大学雑誌編集委員会（以下「編集委員会」という）が編集する。
- 第 4 条 国内外を問わず未発表のものとする。なお、他の学術雑誌への部分的な掲載がある場合は、事前に編集委員会へ相談すること。
- 第 5 条 原稿は邦文または英文とする。原稿フォーマットは付記 1 を参照とする。
- 第 6 条 責任著者は投稿論文の研究課題について、全著者分の署名の入った利益相反に関する自己申告書（<http://smswww.saitama-med.ac.jp/kyoudou/igakkai/R6riekisouhan.doc>）を提出する。
(参考) 確認ができた場合には以下の文言が論文の第一頁の下段に挿入される。
○著者全員は本論文の研究内容について他者との利害関係を有しません。
○ The authors declare that there are no conflicts of interest associated with the present study.
- 第 7 条 責任著者は、研究課題に該当する倫理審査委員会などの適切な審査を受けていることを自己申告するため、全著者分の署名の入った埼玉医科大学雑誌投稿承諾書を提出する。
<http://smswww.saitama-med.ac.jp/kyoudou/igakkai/idaishi/shinkokusho.pdf>
- 第 8 条 人を対象とした論文は、ヘルシンキ宣言の倫理綱領を遵守したものでなければならない。大学倫理委員会あるいは研究を実施する施設の倫理審査委員会（埼玉医科大学の 3 病院 IRB および保健医療学部倫理委員会を含む）において承認を得ていることを必須とし、論文の中に明記する。また動物実験や組換え DNA 実験などにおいては、研究計画を研究実施施設の動物実験委員会あるいは組換え DNA 安全委員会等に申請し承認を得ていることを必須とし、論文の中に明記する。
- 第 9 条 本誌で発表された論文等に関連する不正行為（捏造、改ざん、盗用等）ならびに研究費の不正使用に対しては本学関連規定を適用する。また、審査中に判明した場合には論文を却下する。
- 第 10 条 電子投稿を原則とする。
- 第 11 条 投稿原稿は、以下の書類を投稿専用ホームページにて提出する。
(1) 「付記 1 の原稿フォーマット」に従って作成した論文原稿（図表を含む）。
(2) 上記の論文原稿を一つにまとめて PDF 形式にしたもの。
(3) 全著者が署名した投稿承諾書。
(4) 全著者が署名した利益相反に関する自己申告書。
(5) その他、投稿に必要な書面・書類。
- 第 12 条 Thesis の投稿に当たっては、以下の点に注意する。
1. 他の学術雑誌に投稿予定のない Thesis は本投稿規程に合致していれば全文を掲載する。
2. 他の学術雑誌に投稿する可能性がある場合は、その旨医学会誌編集長に報告し、全文の掲載を猶予する場合がある。ただし、投稿予定が後日取り消された場合、医学会誌編集長にその旨を報告すれば事後の全文の掲載を考慮することがある。
3. Thesis の投稿に際しては、以下の書類を添付する。
(1) 大学院医学研究科発行の学位取得証明書または学位審査合格証明書。
(2) 『学位規則のうち博士に関する運用細則』『学位申請論文（Thesis）作成の手引き』に記載された引用に関する証明書。
(3) 引用した図表に関しては著作権を有する出版者からの転載許可書。
(4) 引用、転載に関する編集委員会所定の用紙による誓約書。
- 第 13 条 編集委員会は、査読が必要な論文（原著、短報、総説、臨床研究、症例報告、資料）には査読を行った上で、投稿論文の採否を決定し、著者に通知する。

- 第14条 査読後、コメントや修正が必要な場合は3カ月以内に再投稿する必要がある。追加実験等により期日に間に合わない場合は、編集委員会に相談することとする。連絡なく期限が過ぎた場合には新規投稿として扱う。
- 第15条 受理された論文に対し、著者の希望により掲載証明書を発行する。原稿の掲載は採用順とする。
- 第16条 初校は著者校正とし、校正期限を厳守する。再校以後は編集委員会において行う。校正時の誤植以外の訂正や変更は編集委員会の許可を得る。
- 第17条 編集委員会は編集作業の効率化のため、論文の受理時（Thesisは投稿時）に整形された最終決定稿の電子ファイルを著者に再提出するよう求めることができる。
- 第18条 カラー印刷等の出版に要する経費は、著者の実費負担とする（依頼原稿は免除することがある）。著者はその経費を編集委員会からの概算払請求により清算する。
- 第19条 本誌に掲載した論文等の著作権は埼玉医科大学医学会に帰属する。
- 第20条 この規定の改訂は、編集委員会の議を経て承認を要する。

付記1 原稿フォーマット（別紙参照）

- 付記2 Artificial Intelligence（AI）やAI支援ツール（以下、AIツール）を補助手段として使用して論文作成した場合は、以下の規定を設ける。
- (1) AIツールを、著者として記載することはできない。
 - (2) AIツールを使用した場合、その旨を「試料と方法」（Materials and methods）の部分に記述する。
 - (3) 論文原稿の言語「英語」や読みやすさの改善に生成AIを使用した場合、「謝辞」（Acknowledgements）の部分に記述する。
 - (4) 文法やスペルの確認等の単純作業に基本的なAIツールを利用した場合は、記載の必要はない。
 - (5) 著者は、AIツールにより作成された論文原稿の内容に全責任を負うものとする。

付記 1：原稿フォーマット

- 1) 原著の本文は原則として、抄録、緒言、方法（材料）、結果（成績）、考察、結論または要約、謝辞、引用文献の順に記載する。
- 2) 和文の原著、短報、症例報告（以下「原著等」という）には、英文の表題、著者名、所属、住所と和文抄録に加えて、400 語以内の英文抄録（keywords 付）をつける。英文の原稿は、英文抄録（keywords 付）に加え、和文の表題、著者名、所属、住所と 800 字以内の和文抄録もつける。
- 3) 和文は口語体を使い、現代仮名使いによる漢字・平仮名交じり文で書く。単語の綴りは行末で切れないようにする。外国人名は原字をそのまま用いる。慣用の和訳名のある外来語および動植物の和名はカタカナで書く。菌名・薬剤名・病名等は省略せずに記述し、略号を用いる場合には文中にその旨記す。但し菌名の表示では初回はフルスペル（例 *Staphylococcus aureus*）とし、2 回目からは属名の頭文字のみ（*S. aureus*）とする。
- 4) 単位は m, cm, mm, μm , nm, L, dL, mL, μL , kg, mg, μg , ng, pg, $^{\circ}\text{C}$, %, hr, min, sec 等の国際単位系（理科年表、国立天文台編、丸善、最新版を参照）を使用する（符号の後に点をつけない）。数字はアラビア数字を用いる。表題には商品名を用いない。文中に登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、登録商標名のあとに社名を括弧書きして表記する。登録商標であることの記号表示（®、TM など）は表示しないこととする。
- 5) 「本文ファイル（表紙含む）」、「図ファイル」、「表ファイル」を個別に作成すること。図、表は 1 つ 1 つ個別のファイルとすること。
- 6) 本文は Microsoft Word で作成する。ファイル名は「Main document_ 著者名」とする。
- 7) ページレイアウト：

邦文：A4 サイズ、横書き、30 字×20 行（600 字）、MS 明朝、12 ポイント、現代仮名使いを用いる。英文：A4 サイズ、ダブルスペース、Times New Roman、12 ポイントで作成する。
- 8) 英文原稿は必ず英文校正業者等、英語を母国語とする専門家による校閲もしくは AI 校閲を行うこと。その費用負担は著者とする。
- 9) 表紙を除き本文には行番号と頁下中央に通し番号を付ける。
- 10) 図表・写真のファイル：
 - ・図表に使用する言語は英語が望ましい。ファイル名は「Fig 1_ 著者名」、「Table 1_ 著者名」等とする。
 - ・Microsoft の Word, Excel, PowerPoint など編集可能な形式で作成する。
 - ・図表には Fig 1, Table 1 というように一連の番号を付し、本文中に挿入位置を指示する。
 - ・写真は鮮明なコントラストを持つようにする。
 - ・TIFF（* .tif）形式または JPEG（* .jpg）形式（保存時、必ず高画質、低（無）圧縮を選択、解像度は掲載希望サイズの実寸で 300 dpi（1 インチ当たり 300 ドット）以上が望ましい）とする。
 - ・報告書、特別講演、資料の図表は原則として白黒印刷とする。
- 11) AI や AI 支援ツールを補助手段として使用して論文作成される場合は付記 2 を参照とする。
- 12) 原稿の長さは以下を限度とする。

	論文種別	原稿（本文＋図表）	抄録（英文）	抄録（和文）	文献
和文論文	原著	10 頁以内	400 words 以内	800 字以内	40 編以内
	症例報告	3 頁以内	400 words 以内	800 字以内	20 編以内
	短報	2 頁以内	400 words 以内	800 字以内	10 編以内

*ただし、図・表・写真に関しては 1 点 700 文字相当と換算する。

	論文種別	原稿（本文＋図表）	抄録（英文）	抄録（和文）	文献
英文論文	Original Article	Word count; less than 5,000 words except abstract and references	no more than 400 words	800 字以内	40 編以内
	Case Report	Word count; less than 2,000 words except abstract and references	no more than 400 words	800 字以内	20 編以内
	Short Communication	Word count; less than 1,000 words except abstract and references	no more than 400 words	800 字以内	10 編以内

*ただし、図・表・写真に関しては 1 点 150 words 相当と換算する。

13) 各種原稿の構成は以下のとおりとする。

原著（Original Article）

邦文	英文
表紙	Title page
要旨（英文および邦文）	Abstract
序文	Introduction
試料と方法あるいは対象患者と方法	Materials and methods, or Patients and methods
結果	Results
考察	Discussion
謝辞	Acknowledgment
利益相反	COI
文献	References
図表（英文）	Figures & Tables
図表の説明（英文）	Legend to figures and tables

症例報告（Case Report）

邦文	英文
表紙	Title page
要旨（英文および邦文）	Abstract
序文	Introduction
症例	Case report
考察	Discussion
謝辞	Acknowledgment
利益相反	COI
文献	References
図表（英文）	Figures & Tables
図表の説明（英文）	Legend to figures and tables

短報（Short Communication）

報告内容に合わせ上記を参照の上、作成する。

14) 表紙原稿は以下の構成とする。

- ・表題（邦文・英文）
- ・著者名（邦文・英文）
- ・所属機関名（邦文・英文）
- ・キーワード（英語の小文字・単数形で記載）ランニングタイトル：邦文論文：邦文 20 字以内、英文論文：英文 10 words 以内。
- ・投稿者の E-mail address
- ・ページ数および図表の数
- ・Corresponding author：氏名、住所、E-mail address を記載する。Equal contribution がある場合でも連絡先の記載は 1 名

のみとする。

- 15) 引用文献は、本文中の引用した箇所の右肩に片カッコ付で番号を付して引用順に末尾に一括し、次の形式によって記載する。雑誌名の略記は「医学中央雑誌」及び「Index Medicus」に従う。

引用文献の記述形式は生物医学雑誌に関する統一規定 Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals（いわゆる Vancouver style）に準ずる（最新版については、関連ホームページサイト <http://www.icmje.org/> や http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html を参照のこと）。著者が6名以下の場合は全員記載し、7名以上の場合には初めの6名を載せ以下“他”とする。著者のイニシャルの後にピリオドは不要。

例)

①雑誌（英文）：

Vega KJ, Pina I, Krevsky B. Heart transplantation is associated with an increased risk for pancreatobiliary disease. *Ann Intern Med* 1996; 124: 980-3. p. 3-6.

②雑誌（和文）：

松谷雅生, 杉山聡, 藤巻高光, 中村治. 成人大脳半球 non-pilocytic astrocytoma の治療. *脳外誌* 1999; 8: 182-8.

③雑誌（英文）：

Parkin DM, Clayton D, Black RJ, Masuyer E, Friedl HP, Ivanov E, et al. Childhood leukemia in Europe after Chernobyl: 5 year follow-up. *Br J Cancer* 1996; 73: 1006-12.

④[単行本] 一冊引用（著者によるもの）英文例：

Ringsven MK, Bond D. Gerontology and leadership skills for nurses. 2nd ed. Albany (NY): Delmar Publishers; 1996.

⑤[単行本] 一冊引用（著者によるもの）和文例：

山内俊雄. 性転換手術は許されるのか 性同一性障害と性のあり方. 東京：明石書店；1999.

⑥[単行本] 一冊引用（編集者によるもの）英文例：

Norman IJ, Redfern SJ, editors. Mental health care for elderly people. New York: Churchill Livingstone; 1996.

⑦[単行本] 一冊引用（編集者によるもの）和文例：

片山茂裕, 他編. Clinical Case-Oriented 症例に学ぶ高脂血症治療 専門医のみるポイント 48+α. 東京：メジカルビュー社；2001.

⑧部分引用英文例：

Phillips SJ, Whisnant JP. Hypertension and stroke. In: Laragh JH, Brenner BM, editors. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management. 2nd ed. New York: Raven Press; 1995. p. 465-78.

⑨部分引用和文例：

別所正美. 造血治療薬. 和田攻, 他編. 治療薬ガイド 2001-2002. 東京：文光堂；2001. p. 519-27.

⑩ウェブサイトからの引用（注意：アドレスが変更されて将来引用不可になる可能性があるため、できれば避けること）：

厚生労働省. “新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き第 9.0 版” 厚生労働省. 2022-10-25. <https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf> (参照 2023-2-10)

⑪学会発表：

東丈裕, 松下祥. 株化細胞を用いた試験管内アジュバント活性定量評価法とその応用, 第 38 回日本免疫学会総会, 平成 20 年 12 月, 京都